

100周年

全国で鳴り響け！ 東京RC創立&日本のロータリー 100周年を祝う鐘

日本のロータリー 100周年実行委員会
記念事業等委員会



1920年に日本で初めて創立した東京ロータリークラブ(RC)が、2020年10月20日で創立100周年を迎えます。これは同時に、日本のロータリーが100周年を迎えることでもあります。この100周年という大きな節目に向け、日本のロータリー100周年実行委員会ではさまざまな取り組みを計画しております。

その一つとして、ロータリーの会合で使われる日本のロータリー100周年記念ゴング(鐘)を東京RCと共に製作し、国内全34地区にお贈りするにしました。

この鐘は2018-19年度、2019-20年度のガバナーがガバナー公式訪問の際に持参し、各クラブの会長に例会で点鐘していただくことで、また、各種ロータリーのイベントで使っていただくことで、国内全地区、さらには全てのロータリアンの中で、日本のロータリークラブの始祖ともいえる東京RCの創立100周年、そして日本のロータリー100周年を祝う機運を盛り上げていこうというものです。

皆で高らかに鐘を鳴らして、100周年をお祝いしましょう！

2018年6月末までに2018-19年度のガバナー事務所にお送りします。

ピンバッジデザイン募集 締め切り近づく

日本のロータリーが100周年を迎えるに当たり、全国のロータリアンの皆さまから、記念ピンバッジのデザインを募集しています。締め切りは6月30日。皆さまからのご応募をお待ちしております。応募の詳細は『友』3月号横組みP39をご覧ください。



デザイン例

全国のロータリアンの皆さまへ

東京RCは、米山梅吉と福島喜三次の出会いに始まります。1918年1月、米山は、日本政府の財政調査団に加わって渡米。ダラスRC会員の福島に会い、初めてロータリー運動に接し、大いに心を動かされました。帰国後、米山は2年余り、ロータリー精神と組織の研究に努めました。

当時の日本は経済も不安定で、ロータリー精神が容易に受け入れられるような状況ではありませんでしたが、米山の熱意が少しも衰えることはありませんでした。1920年1月には福島も帰国、創立に向け具体的な準備作業が進められました。

創立総会は10月20日、会員24人で開催されました。総会では初代会長に米山、幹事に福島を選び、国際ロータリー(RI)に加盟を申請、翌年4月に承認されました。

2020年に東京RCは「祝！ 100周年原点に立つと未来がみえる、Participate!」を合言葉に創立100周年を祝賀するとともに、クラブの未来を見つめる機会にしたいと考えています。

2005年にシカゴRCの創立100周年をロータリーの創立100周年として祝ったのと同様に、2020年には日本のロータリー100周年実行委員会のスローガン「日本ロータリー100周年、超我の奉仕に魂を！」のもと、日本中のロータリークラブで祝い、共に発展を目指したいと思います。

東京RC100周年準備委員会委員長
吉澤 審一